

下田市将来人口ビジョン（概要版）

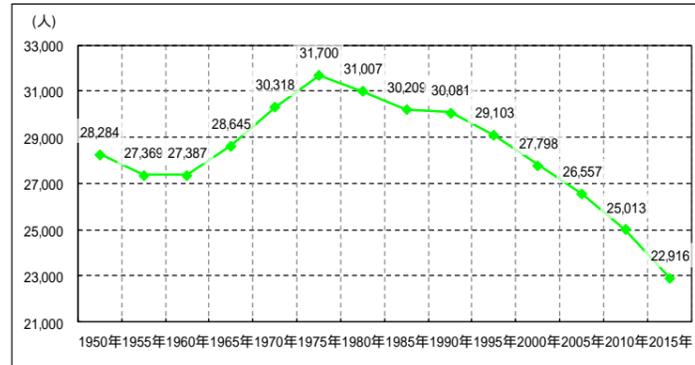
ポイント

- 1975年以降、総人口が減少し続けている。
- 出生数の減少と死亡数の増加により自然減が拡大し、転入数と転出数が減少する中で社会減が継続している。
- 合計特殊出生率は、静岡県とほぼ同様に推移し、郡内で中位だが、人口置換水準に届いていない。
- 男女ともに、10代が大幅な転出超過、20代前半が転入超過だが、転入超過の度合いは縮小してきている。
- 「第2期下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進により、2060年の人口8,009人を展望する。

(1) 総人口と年齢3区分別人口の推移

国勢調査における本市の総人口の推移をみると、1955年以降増加傾向にありましたが、1975年に31,700人に達したのち、減少に転じ、その後は減少を続けています。特に、1990年以降は減少の度合いがやや拡大しており、2015年の人口は22,916人で、ピークの1975年と比べて27.7%の減少となっています。

図表 総人口と年齢3区分別人口の推移



1995年から2015年にかけての年齢3区分人口をみると、男女ともに、年少人口（0～14歳）生産年齢人口（15～64歳）が減少している一方、老年人口は増加を続けています。20年間で、年少人口が44.7%の減少、生産年齢人口が39.0%の減少であるのに対し、老年人口は48.7%の増加となっており、少子高齢化の傾向が顕著となっています。

		男	女	計
年少人口	1995年	2,048人 (14.7%)	1,993人 (13.1%)	4,041人 (13.9%)
	2005年	1,586人 (12.5%)	1,451人 (10.5%)	3,037人 (11.4%)
	2015年	1,153人 (10.6%)	1,081人 (9.1%)	2,234人 (9.8%)
生産年齢人口	1995年	9,479人 (68.2%)	9,633人 (63.3%)	19,112人 (65.7%)
	2005年	7,992人 (63.3%)	7,930人 (57.2%)	15,922人 (60.0%)
	2015年	5,986人 (54.9%)	5,672人 (47.9%)	11,658人 (51.3%)
老年人口	1995年	2,365人 (17.0%)	3,585人 (23.6%)	5,950人 (20.4%)
	2005年	3,115人 (24.5%)	4,482人 (32.3%)	7,597人 (28.6%)
	2015年	3,756人 (34.5%)	5,092人 (43.3%)	8,848人 (38.9%)

()内は構成比
資料：国勢調査

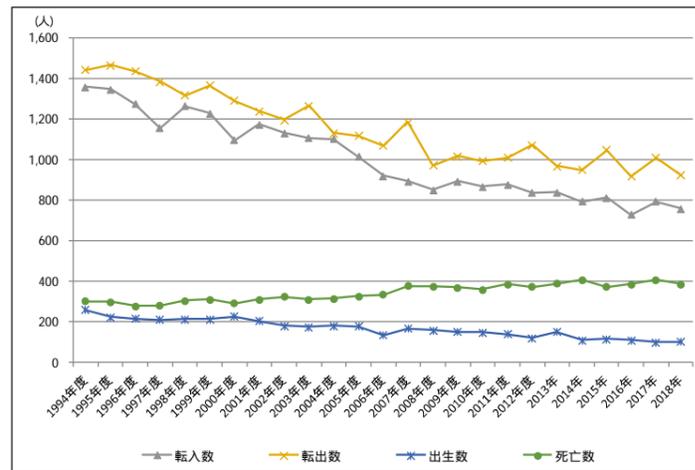
(2) 人口動態

1994年度以降の出生数、死亡数の状況を見ると、出生数が年間200人程度から年間100人程度に減少しているのに対し、死亡数が年間300人程度から年間400人程度に増加しており、死亡数が出生数を上回る自然減が継続し、その度合いが拡大しています。

転入数、転出数の状況を見ると、ともに年間1,400人程度から減少を続けていますが、転出数が転入数を上回っており、年間100～200人程度の社会減が継続しています。

自然減と社会減が継続していることから、総人口は減少を続けています。

図表 出生数・死亡数、転入数・転出数の推移

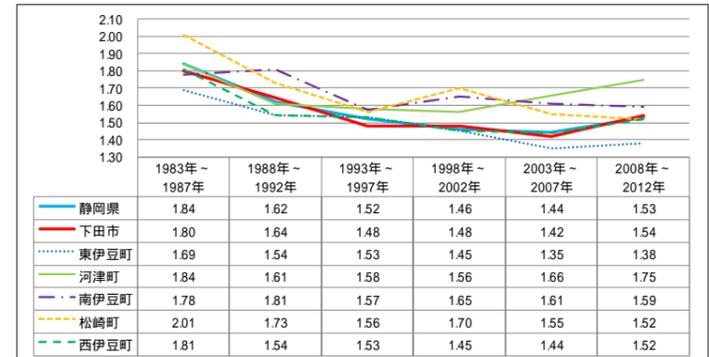


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

(3) 出生の状況

合計特殊出生率の推移をみると、1983年～1987年以降減少傾向にありましたが、2008年～2012年に増加に転じています。静岡県とほぼ同様に推移しており、2008年～2012年には郡内の町と比較して中位となっていますが、現在の人口を維持できる合計特殊出生率の目安である人口置換水準（2017年の日本では2.06）には届いていません。

図表 合計特殊出生率の推移

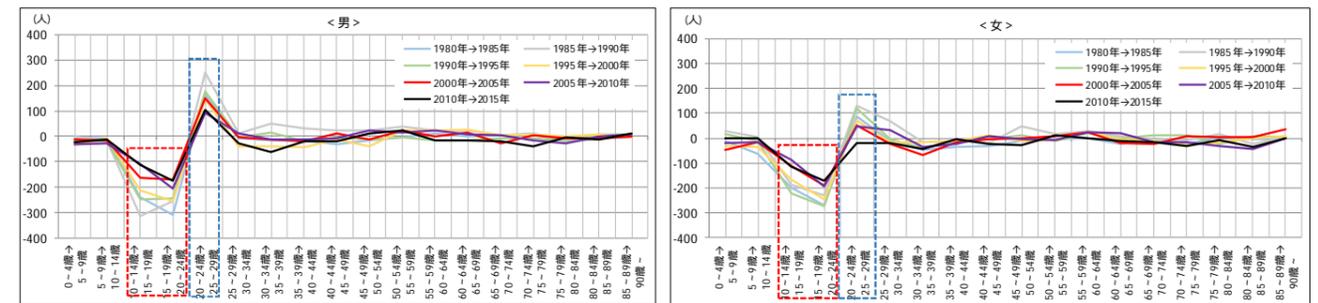


資料：人口動態保健所・市区町村別統計

(4) 人口移動の状況

男女別・年齢階級別に人口移動の長期的動向をみると、男女ともに、「10～14歳 15～19歳」と「15～19歳 20～24歳」で大幅な転出超過となっています。また、男女ともに、「20～24歳 25～29歳」で大幅な転入超過がみられましたが、転入超過の度合いが縮小しており、女性は、2010年 2015年に転出超過に転じています。

図表 年齢階級別純移動数の長期的動向

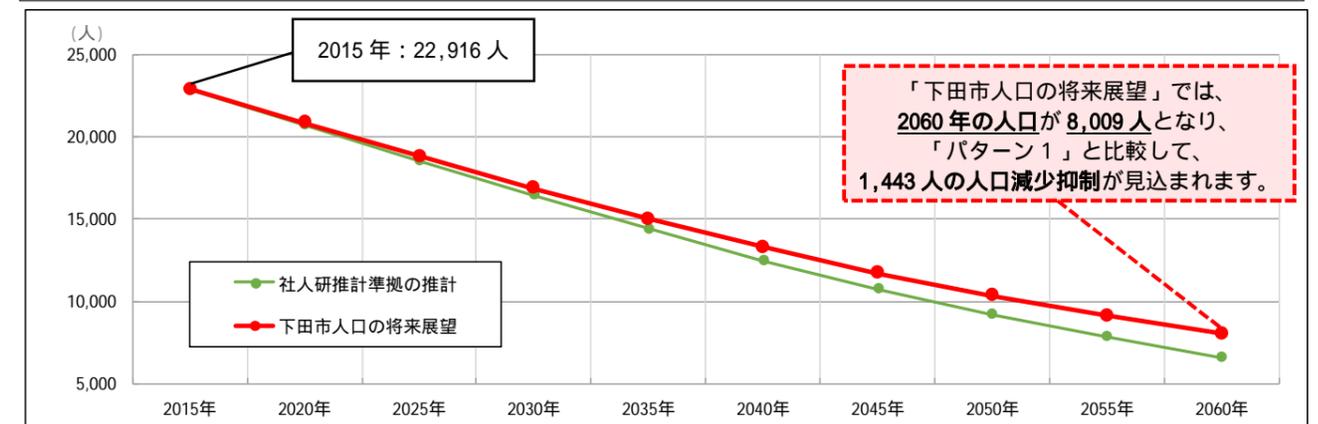


資料：「国勢調査」及び「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

(5) 人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計に準拠した人口推計によると、本市の人口は、2060年に6,566人まで減少するとされています。本市では、「第2期下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて施策を展開し、自然動態と社会動態を改善させて人口減少を抑制することにより、2060年の人口は8,009人を展望します。これにより、社人研推計準拠の推計と比較して1,433人の人口減少抑制が見込まれます。

図表 人口の将来展望



「下田市人口の将来展望」では、**2060年の人口が8,009人**となり、「パターン1」と比較して、**1,433人の人口減少抑制**が見込まれます。